

政策課題研究 1

琵琶湖沿岸域における湖底環境・生物再生に向けた研究

沿岸域における生態系改善対策の一つとして、浅い砂地の修復・再生に向けて、事業の設計に必要な知見を得るため、二枚貝等を評価指標とした生息・餌環境を形成する要因を評価するとともに、養浜等の事業における底質や生物への影響を評価することにより、場の特性に合わせた、二枚貝等がにぎわう沿岸環境を修復・保全する設計手法を提示します。

<サブテーマ>

- ・二枚貝等を評価指標とした沿岸環境修復手法の検討
- ・養浜等事業後の底生動物等の動態、生息環境・餌環境への影響評価

【現状における課題】



沿岸域の浅い砂地の修復・再生

【課題解決に向けた対応】

1 底生動物を指標とした沿岸域における生態系の改善に必要な条件の解明

- 二枚貝の生残・成長と生息環境・餌環境との関係を把握
- 地域住民等との協働による底生動物増加を目指した沿岸環境修復効果の検証



2 養浜事業実施場所における底質や生物の回復過程の評価

- 事業実施前後の底生動物の回復過程、底質、プランクトン等の動態を把握
- 砂地化することによる短期的な生息環境・餌環境への影響評価



養浜事業実施場所(野洲市マイアミ浜)

- 場の特性に合わせた、二枚貝を評価指標とした沿岸環境修復の設計手法の提示
- 地域の保全活動の担い手(住民・漁業者等)との協働による環境修復活動の実践手法の検討